

和歌山県における 入院者訪問支援事業について ～事務局の立場から～



医療法人宮本病院 地域活動支援センター櫻

入院者訪問支援チーム まりねこWA!かやま

相談支援専門員 精神保健福祉士

中野 千世

入院者訪問支援チーム作り



- 事業実施するうえで、独立した、新たなチームを
- ピアサポーターとの協働は必須
- メンバーは、出来る限り、さまざまな所属から

コアメンバー 5名

- ☆ 精神保健福祉士、相談支援専門員
- ★ 精神保健福祉士、相談支援専門員、ピアサポーター推進員
- ☆ ピアサポーター（あっとSAKURA）
- ★ ピアサポーター、ピアカウンセラー（A法人）
- ☆ ピアサポーター、ピアスタッフ（B法人）

まりねこWA!かやま

親しみを持っていただけるように

WA!の意味・・・和歌山の「和」

みんなで助けあって「輪」になってやろう



つながりをもてるような かけはしに
あなたとつながり かけはしに

「大事なことも ささいなことも
一緒におしゃべりしませんか？」

キャラクター 右:まりねこちゃん 左:はちさま

事務局運営について



【電話受付】

週 5 日（月～金）PM 4 時間（令和 7 年 7 月から）

【電話対応の体制】

職員 1 ～ 2 名で対応（事業所内で）

【事務局体制における課題】

- ・事務局職員が常駐出来る体制になっていない
- ・迅速に訪問調整することが難しくなっている
- ・県内全域を対応することの限界

活動を行うにあたり…



- ・これまでの活動が土台に
- ・病院に出向く機会、入院中の方との出会い
- ・入院者訪問支援員養成研修での学び
- ・チーム会議、運営会議での協議
- ・官民協働の取り組み
- ・権利擁護とはを改めて考える

活動を行う中で…



- ・ 周知活動
- ・ 各医療機関への説明
- ・ 入院者訪問支援としての終結
- ・ 事業の評価 …など

事務局としての取組みから



◇ まずは、訪問支援活動を

◇ 電話対応

◇ 訪問前の準備

◇ 訪問当日の動き

◇ 医療機関への働きかけ

◇ 訪問支援員さんのフォローアップ

運営会議(月1回)
まりねこ会議(随時)

全国のネットワーク

課題の変化



- ◇ 周知
- ◇ アクセスしてもらうための工夫
- ◇ 医療機関、市町村への説明、協力依頼
- ◇ 訪問支援員派遣のコーディネート
- ◇ 対象者への対応について
- ◇ 事務局体制
- ◇ 情報発信

今後について

- ・ 事業実施の意義
- ・ 事業そのものの発展
- ・ 対象者について
- ・ 必要なものとして、あたりまえに
- ・ 精神保健福祉領域から様々な領域へ
- ・ 可能性のひろがりを実感



ご清聴ありがとうございました